

一九九一年度 第二回運営委員会記録

日 時 一九九〇年十一月十七日 二三時三〇分～一六時三〇分
場 所 中央大学駿河台記念館
出席者 相川良彦、武田共治、松岡昌則、工藤清光、柄澤行雄、吉
沢四郎、磯辺俊彦、長谷川昭彦、高山隆三、岩本由輝、安
孫子麟、庄司俊作

審 議

一 一九九一年度大会共通課題について

大会でのアンケート、一部会員の問題提起をふまえ議論した
が、結論が出なかった。事は運営委員会だけで決められるよ
うな問題ではないとの意見が出、広く会員の関心と意見を聞
いたうえであらためて検討することになった。次回運営委員
会までに事務局の方でアンケートを実施することに決定した。

二 宿題委員会の選出について

当面決めず、アンケートの結果と大会共通課題の決定をふま
えて選出することにした。

三 一九九一年度第一回研究会について

一九九一年二月二日（土）に、一九九〇年度農業センサスに
関するテーマで報告していただく。報告者などについては磯
辺俊彦会員より交渉方をお願いする。

四 「研究通信」の誌面の工夫について

今後、村落社会研究会への提言、調査記・外国見聞記などを
会員から募り、「研究通信」に掲載する。

報 告

十一月九日に中部・近畿地区の運営委員で会合をもち、
一九九一年度大会共通課題、村落社会研究会の運営などに
ついて議論した。